

## 南ア月報

(2016年9月)

在南アフリカ日本国大使館

主な出来事

### 【内政】

- ヌカンドラ問題に関するズマ大統領による返金
- ズマ大統領による国民議会答弁
- ANC全国執行委員会（NEC）の開催

### 【外交】

- ズマ大統領のG20出席
- ズマ大統領の国連総会出席

### 【経済】

- 経済成長
- 貿易収支
- 鉱業・製造業生産高
- 景況感指数
- 小売り
- 資産運用会社の国営企業からの撤退
- 環境NPOによる裁判所への石炭火力発電所建設にかかる環境評価取り消し申請
- 政治リスクと外国投資
- 国家原子力計画
- 世界経済自由度ランキング後退

## 1 内政

### ●ヌカンドラ問題に関するズマ大統領による返金

12日、大統領府は、クワズールー・ナタール州ヌカンドラに所在する大統領私邸のアップグレードに使われた公金について、ズマ大統領が憲法裁判所の命令に従い一部返金を行った旨を発表した。返金額は、本年6月末に財務省によって示された約780万ランド。発表によれば、VBS Mutual Bank が大統領に同額の住宅ローンを提供したとされており、民主連合（DA）をはじめ野党からは、大統領があまり知名度の高くない同銀行からどのような経緯・方法でローンを受けられることとなったのか不審がると共に、更なる汚職の可能性を指摘するなど批判の声が相次いだ。

### ●ズマ大統領による国民議会答弁

13日、ズマ大統領は国民議会において野党の質問に対する答弁を行った。質問が8月末にナイロビで開催されたTICAD VIに及ぶと、ズマ大統領は日本がイニシアチブを発

揮するT I C A D及び日本のアフリカ開発に対するコミットメントを高く評価した。野党から懐疑的な質問があった際も、一貫して日本の貢献に大きな期待を抱いている旨の発言を行った。

### ●ANC全国執行委員会（NEC）の開催

30日、ANCは全国執行委員会（NEC）を開催した。同会議では、ANC総裁選早期実施の否定、ANCに所属する政治指導者や公務員らに対する監査（lifestyle audit）実施を通じた汚職対策、南アフリカ国营放送（SABC）幹部ポストからのモツォエネング（Hludi Motsoeneng）氏の辞任要求、地方選挙敗北に関する各地方支部からの報告等について議論がなされた。

## 2 外交

### ●ズマ大統領のG20出席

4日付メディア・ノート「中国杭州で開催されたG20サミットのマージンにおけるBRICSのリーダー達による非公式会合」

（1）リーダー達は、国際法にもとづいた正当で公平な国際秩序を確立する重要性を強調した。リーダー達は、規則にもとづき、オープン、透明、公平で包括的な貿易システムの土台としてのWTOの重要性、そして、WTOの任務の中心が引き続き開発である必要性を強調した。

（2）リーダー達は、WTOの役割と交渉機能を強化するコミットメントを再確認し、国際貿易が衰える中で台頭する保護主義に対し懸念を示し、市場間の連携および包括的で規則にのっとったオープンな世界経済を促進するために努力することで一致した。

5日付大統領府声明「G20のリーダー達は南の利益を促進する」

（1）貿易と投資に関し、ズマ大統領は、イノベーション、フェア・トレード及び投資が持続的で包括的な成長の重要な要素であると述べた。ズマ大統領は、「我々の貿易および投資政策は、国々の競争力を向上させ、市場へのアクセスを勝ち取り、世界経済に成功裏に参加することを可能にするように計画させるべきである」と述べた。

（2）ズマ大統領は、G20サミットのマージンでデビー・チャド大統領（AU議長）及びサル・セネガル大統領（NEPAD議長）との三者会談に出席した。この会談は、G20サミットにおいて、アフリカの視点による共通メッセージを調整し、強化する機会を提供した。ズマ大統領は、「アフリカ唯一のG20メンバーとして、南アフリカはAU議長やNEPAD議長といったオブザーバーと緊密に連携することによって、AUの優先課題を前進させることを追求する。G20サミットが注意深く運営されれば、強く必要とされているグローバル・ガバナンスを前進させ、国際的な開発アジェンダを正しい方向に導くために有意義な機会を提供するという理解から、南アフリカは、南の利益を促進し、強化するために、G20への参加を利用することを追求している」と述べた。

### ●ズマ大統領の国連総会出席

20日、ズマ大統領は国連総会に出席し、一般討論演説を行ったところ、ポイントは以下のとおり。

（1）我々は、すばらしいゴールを達成するために、国連安保理がAUの平和維持活動を支えることを促す。リビア、南スーダン、中央アフリカの情勢は、アフリカの優先課題である。我々は、これら兄弟の国々、そしてアフリカ全体に平和をもたらすための努力において、国連安保理がAUとより緊密に連携し、協力することを強く促す。

(2) アフリカに限ったことではないが、我々は、引き続きテロの脅威を懸念している。アメリカ同時多発テロから15年が経過したが、テロの脅威に成功裏に対処できた国や地域は一つもないのである。我々は、ISISの台頭を目撃し、意味のない殺害に憤慨した。リビアやシリアの紛争は、正当化できないテロ活動を行うための豊かな土壌をテロリストに提供したのである。

(3) 南アは、アフリカの代表性を確保するために国連安保理の根本的な改革を求めてきたし、これからも求め続ける。10億の人たちが、このように声を上げることを否定され続けることはあり得ない。

### 3 経済

#### <経済指標>

##### ●経済成長

2016年第2四半期の経済成長率は、鉱業と製造業での輸出が微増したのを受け反転し、3.3%と、これまでの6四半期中で最も高いものとなった。この数字は2014年第4四半期以来最も四半期ベースでは早い成長率であり、2016年第1四半期では1.2%に縮減していた。エコノミストは、年次成長率は0.5%、四半期ベースでは国内総生産は2.3%拡大するとみていた。鉱業部門の生産が第1四半期に18.1%に減少したあと、11.8%に拡大し、成長を牽引している。また製造業は前四半期0.6%の成長に比べ、8.1%に拡大した。

##### ●貿易収支

2016年7月までの貿易収支は、ランド安に大きく影響を受け、174億ランドの輸出超を記録。南ア歳入庁(SARS)の統計によると、7月までの輸出は前年同期比10%増の6521億ランド、輸入は同3%増の6347億ランドとなった。エコノミストは、この輸出超の状態は今後数か月続くとの見通しを述べた。また、ランド安の影響で第一四半期の経常収支の赤字は5%拡大している。

##### ●鉱業・製造業生産高

南アのGDPの20%を占める鉱業・製造業の7月の生産高は減速している。南ア統計局によると、7月の前年比鉱業生産高は6月の3%減少に続き、5.4%減少に落ち込み、製造業生産高は6月に4.7%前年比4.5%増加したものの、7月は0.4%の微増にとどまった。

##### ●景況感指数

ランド・マーチャント・バンク(RMB)および経済研究所(BER)は、悲観的な見方が42ポイントをしめるものの、ここ7四半期の落ち込みから回復したと述べた。一方で南ア商工会議所(SACCI)は、8月の景況感が7月の96から92.9ポイントに後退したと述べた。

##### ●小売り

南ア統計局は、ほとんどの小売業者が売りに上げにポジティブであったものの、7月の小売り売上高は、前年比0.8%増加にとどまったと述べた。小売り業界やアナリストは、家具、家電、日用設備品において、厳しい貸付条件により消費者が高価な財の購入を避けるようになったとみている。消費者の購買には圧力がかかっているとみている最新の小売り業界のデータでは、リザーブバンクが金利を据え置くであろうという見方を支持している。

## ＜出来事＞

### ●資産運営会社の国営企業からの撤退

南アフリカにおける資産運営会社の Futuregrowth は、政治闘争と財務当局の独立性への懸念から、3つの国営企業の投資を引揚げる旨発表した。この引揚げは、ズマ大統領とゴードン財務大臣の対立に端を発しており、他の投資会社もこの動きに同調する可能性がある。

### ●環境NPOによる裁判所への石炭火力発電所建設にかかる環境評価取消し申請

南アフリカの環境系 NPO の Earthlife Africa はプレトリア高等裁判所へタバメシ (Thabametsi) 石炭火力発電所建設に関する環境評価承認の取消しを求める訴えを行った。タバメシ発電所は丸紅と Africa Power 社が国内外の企業と協力して建設を進めており、1200MW 規模の石炭火力発電所である。タバメシ発電所はエネルギー省の入札に基づいて行われているも、南ア環境大臣は気候変動に関する影響評価を追加的に行うことを決定した。Earthlife Africa によると、タバメシ発電所により水資源と空気の質を脅かす可能性があるとしている。

### ●政治リスクと外国投資

政治闘争によるリスクが南アの経済成長政策の実行を妨げる可能性がある。各格付け会社は8月の地方選の結果とゴードン財務大臣訴追の可能性の2つを年末の格付け見直しの重大な考慮要素としている。また、BNPパリバのエコノミストは政治リスクが外国からの対南ア投資にも影響を与えうると警告する。ランドも政治リスクによる下落のプレッシャーを受けているほか、他の新興国と同様に年末にも実行されるとみられている米国の利上げによる投機プレッシャーにもさらされている。与党 ANC は地方選挙における大都市での支持低下にともない、より国民受けする政策を行う可能性も高く財政を圧迫することで経済成長の足かせとなることも懸念される。

### ●国家原子力計画

長期にわたり延期されていた原子力発電所の RFP (Request for Proposal) が9月30日にも行われる予定となった。2014年6月にズマ大統領は9.6GWの原子力発電所の建設が最優先事項である旨述べたものの、政治的、法的な反対論からプロセスが止まっていた。ジョーマット・ピターソン大臣は RFP は原子力発電所のコスト規模をはかる市場テストである旨述べた。9月29日に至り、エネルギー省はプレスリリースで、さらなる検討や協議が必要であるとする多くの意見を踏まえ、このプロセスが完了するまで9月30日に予定していた本RFPの発出を延期することを発表した。

### ●世界経済自由度ランキング後退

南アは世界経済自由度ランキングにおいて159か国中105位となり、昨年から12位後退した。下落の原因としては、競争力の低下と住環境の悪化が指摘されている。ランキングは世界各国の各種データの収集困難性から2014年のデータを使用しており、公表時期の実情とは乖離がある。

## 4 警備

### ●国内犯罪統計 (2015.4~2016.3)

9月初旬、南ア国家警察が国内犯罪統計 (2015.4~2016.3) を公表した。殺人 (同未遂含)、強盗、傷害等の人の生命・身体に対する侵害を内容とする凶悪犯罪 (CONTACT CRIMES) の増加が顕著であり、早急かつ効果的な対応策が求められている。その他当該統計の概要

については、以下のとおり。

#### 【南ア国内全体】

ア 犯罪カテゴリーのうち、殺人や強盗、傷害等の人の生命・身体に対する侵害を内容とする凶悪犯罪（Contact Crimes）の発生件数は、2012年以降連続して増加しており、昨年1年間で警察が受理した全被害認知件数の35.2%（623,223件）を占めた。

イ 殺人は、18,673件（前年比4.9%増）、同未遂は18,127件（同3.4%増）発生しており、1日当たりの発生件数は、殺人51.2件、同未遂49.7件である。北ケープ州を除くすべての州において前年度の発生件数を上回った。

ウ 強盗のうち、武装強盗のような凶悪な態様（aggravating circumstances）による犯行は、132,527件（前年比2.7%増）発生した。これを手口別に見ると、（注）①一般住宅に対する侵入強盗の発生率が最も高く（20,820件）、次いで②ショッピングモール等における屋内強盗（19,698件）、③カージャック（14,602件）の順に多く発生しており、いずれも2011年以降、高い比率で増加している。とりわけカージャックについては、昨年に続いて驚異的な増加率（前年比14.3%増）を示した。

（注）南アの犯罪統計においては、強盗の手口①～③を総称して Trio Crimes と定義されている。2009年以降、当該 Trio Crimes の発生件数は増加の一途を辿っており、2015-16年の発生件数は55,120件（前年比5.5%増）であった。

エ Contact Crimes に加え、前年の発生件数を上回った罪種として、会社・事業所等に対する侵入窃盗（前年比0.9%増）、商業詐欺（同3.1%増）、飲酒・薬物運転（同11.1%増）が挙げられる。

オ 昨年1年間で認知された約200万件に及ぶ犯罪被害のうち、83%に相当する約170万件が被害者からの申告によるものであり、残りの17%は薬物・銃器関連犯罪・人身売買等の組織犯罪に対する警察の捜査活動を通じて認知された。

#### 【ハウテン州】

ア 国内全体の犯罪統計を反映し、Contact Crimes の発生件数が前年比3.3%増加しており、殺人は3,842件（前年比4.7%増）、同未遂は4,574件（同8.9%増）発生した。

なお、当館が所在するツワネ市だけでも475件の殺人事件が発生しており、州内で最も高い発生件数（53件）を記録した署管区は、アトリッジヴィル地区（前年比35.9%増）及びテンバ地区（同8.2%増）であった。

イ 一般住宅に対する侵入強盗の発生件数は、前年に比べ3.4%減少したが、1日当たりの発生件数は21.6件と依然として高い比率で発生している。一方、カージャック及びショッピングモール等における屋内強盗の発生件数は、いずれも前年度より増加しており、Trio Crimes として見た場合、この5年間は継続的に増加している（2015-16年の発生件数は22,173件。ハウテン州だけで国内 Trio Crimes の27.7%を占めた。）。

ウ 邦人企業が集中するヨハネスブルグ市の商業都市サントン地区及びその周辺においては、ショッピングモール等における屋内強盗及び一般住宅に対する侵入強盗が高い比率で増加しており、同署管区における侵入強盗の発生件数（245件）は、ハニーデュー（Honeydew）地区に次いで州内で2番目に多かった。また、カージャックは76件発生し

ており、前年を18.8%上回った。

(了)